

執筆者紹介（執筆順）

西尾元伸（にしお もとのぶ） 帝塚山大学准教授。『楊柳歌』の京都、あるいは清水寺―観音功德の顕現をめぐって―（泉鏡花研究会編『論集』泉鏡花 第五集）和泉書院、二〇一一年九月、「泉鏡花」菊あはせ「小考」稲荷堂」と「狐」を手がかりに」（『朱』62号、二〇一九年三月）

呉谷充利（くれたに みつとし） 建築史家、相愛大学名誉教授。著書『志賀直哉 上高畑の「サロン」をめぐる考察』（創元社、二〇〇三年）『近代、あるいは建築のゆくえ』（創元社、二〇〇七年）『志賀直哉旧居の復元』（学校法人奈良学園、二〇〇九年）『ル・コルビュジエと近代絵画』（中央公論美術出版、二〇一九年）『町人都市の誕生―いきとすい、あるいは知―』（中央公論美術出版、二〇二二年）他。

吉川仁子（よしかわ ひとこ） 奈良女子大学文学部准教授。専門は日本近代文学。主要論文『芥川龍之介』『玄鶴山房』考―阪本龍門文庫蔵自筆原稿の検討を通して―（『叙説』二〇〇二年十二月）『夏目漱石「明暗」論―清子らしさとは何か?―』（『明暗』論集、清子のいる風景）和泉書院、二〇〇七年）『池田小菊と全国書房版女流作家叢書』（『叙説』二〇一三年三月）

東浦弘樹（とううら ひろき） 関西学院大学文学部教授（フランス文学）。演劇ユニット・チーム銀河代表、劇作家、役者。著書『晴れた日には『異邦人』を読む―アルベル・カミュと『やさしい無関心』』（世界思想社、二〇一〇年）、『フランス恋愛文学をたのしむ―その誕生から現在まで』（世界思想社、二〇二二年）他。

平瀬礼太（ひらせ れいた） 美術史家。著書『講座日本美術史6 美術を支えるもの』（共著、東京大学出版会、二〇〇五年）、『戦争と美術』（共著、国書刊行会、二〇〇七年）、『銅像受難の近代』（吉川弘文館、二〇一一年）（第23回倫理美術奨励賞）。『彫刻と戦争の近代』（吉川弘文館、二〇一三年）『肖像』文化考』（春秋社、二〇一四年）

りずむ 第十二号

令和五年三月二十五日印刷
令和五年三月三十日 発行

編・発行者 白樺サロンの会

公開講座 〒630-8301 奈良市高畑町二二三七―二一

志賀直哉旧居（学校法人奈良学園セミナーハウス）
〒742-2266 六四九〇

発行所・事務局 〒658-0003 神戸市東灘区本山北町五丁目
一〇―二二―二〇一

白樺サロンの会

〒784-4535 五五四五

印刷所 〒615-0052 京都市右京区西院清水町一三

協和印刷株式会社
〒753-2204 一〇